

意見6
ふるさと雇用
対策事業について

この事業では雇用を
図るために企業等に助
成したものであるが、
実際、申請されたとお
り雇用が継続され、交
付金が有効に生かされ
たか検証したのか。

回答 秋田県ふるさと
雇用再生臨時対策基金

事業については、平成
21年度から3カ年の継
続事業として実施して
きた。本事業は、事業
終了後は正規雇用者と
して出来る限り継続雇
用することを目的とし
ている。

本事業により雇用さ
れた人数は12名で、そ
の内、事業終了後も正
規社員として雇用が継
続された人数は7名、
他の企業に就職された
方が1名となっており、
3分の2の方々が正規
社員として雇用が継続
されていることから、
一定の成果は上げられ
たものと判断している。

意見7

プレミアム付き
商品券について

プレミアム部分を
20%から10%としたり、
世帯あたりの限度額を
上げたりといったこと
があったようだが、も
っと有効利用される工
夫を町でも指導するこ
と。

回答 プレミアム率に
ついては、議会や監査
委員からの意見に基づ
き、20%から10%に変

更したものである。限
度額については、商工
会と協議し、1世帯当
たりの限度額を決定し
ているが、今後も様々
な意見を集約しながら、
商工会と協議してい
たいと考えている。

意見8

加工施設の
指定管理について

現在の指定管理者に
ついては町から指定管
理料を払うと共に、設
備等の整備充実にも町
が相当の負担をしてい
るが、会社として自立
の姿勢が見えないこと
から、今後の経営見通
しを示すこと。

回答 農林水産物処理
加工施設については、
八峰白神自然食品(株)



塩もろみの販路開拓に期待したい

が指定管理しており、
限られた設備能力の中
で、効率的に塩、塩も
ろみの製造と販路開拓
に努めており、徐々に
成果を上げていく。
今後、大口の注文に
対して増産体制を確立
し、販路開拓を積極的
に図ることとしており、
これにより、指定管理
料の縮減が期待される。
なお、今後の経営見
通しについては、毎年
度当初に経営計画書を
提出するよう指導する。

意見9

「んめものまつり」
の町内出店
について

ポンポコ山の道の駅
で開催している「んめ
ものまつり」は大変好
評ではあるが、地元の
出店が少ないことから
業者や団体への働きか
けに努めること。

回答 「んめものまつ
り」は八峰町の秋の代
表的なイベントとして
定着しつつあり、来場
者及び売上金額も増加
傾向にある。

また、昨年と今年は、
東日本大震災からの復
興支援事業として、被
災地各県からの出店や
芸能の出演もあり、内
容の充実が図られてい
る。



当町の一大イベントになりつつある
「んめものまつり」

地元の出店が少ない
とのご指摘もあるが、
今年は地元出店者も増
えており、また、出店
できない観光協会の
ための連携イベントも
行っている。

今後も、八峰町の地
産品や食をPRする秋
の一大イベントとなる
よう、「んめものまつ
り」実行委員会に対し
て協議、指導をしてい
きたいと考えている。

意見10

ぶなっこランドの
あり方について

ぶなっこランド全体
の管理を見直すこと。

回答 ぶなっこランド
は平成2年度に県が森
林科学館を建設し、そ
の後、旧八森町が木工
体験館、バーベキュー
ハウス、白神ふれあい
館等を順次建設し、現
在に至っている。当初
は、森林を知り、楽し
み、癒される目的で整
備されたが、その後、
白神山地が世界自然遺
産に登録されたことか
ら、白神山地観光のイ
ンフォメーション施設
として活用してきた。

しかし、木工体験館
など休止している施設
もあり、今年の9月24

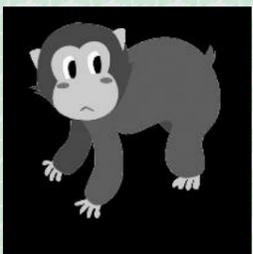
意見11

サル害対策の
強化について

日に八峰町が日本ジオ
パークに認定されると
いう新たな要素も加わ
ったことから、それら
も含め、ぶなっこラン
ド全体の見直しを検討
していきたいと考えて
いる。

サルによる農作物等
の被害は、町の銃によ
る捕殺や檻・電柵・花
火・網等の対策が効果
を發揮しているもの
の、出没の範囲が拡大
傾向にある。
先進地の事例を参考
にすると共に、秋田・青
森両県の白神山地周辺
市町村との連携を深め
ると共に、栽培する作
物を工夫するなど対策

の強化を図ること。
回答 サル害対策につ
いては、これまで青
森県や山形県など先進
地の事例を参考にし
て、防除活動や捕獲活
動などを継続的に実施
している。
白神山地に生息する
サルの被害は、数年前
から能代市と藤里町に
も拡大したほか、青森
県側でも各種対策を講
じているもののサルの
被害が減る傾向にない
現状となっている。
現在、各市町村単位
で単独の対策を講じて
いるが、効果的・効率
的な対策を講じるため
には、白神山地を共有
する市町村が被害や対
策についての情報を共
有することが必要だ。



そのため、秋田・青森
両県の主催で、8月21
日に深浦町で初めて情
報交換会を実施した。
青森県深浦町では、
サルが嫌がるトウガラ
シやシントウなどを被
害作物の周囲に栽培す
るなどの対策も講じて
いるので、本町でも、
このような先進地の対
策を参考にしながら、
サル害対策をさらに強
化したいと考えている。